

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]

(令和7年3月解析分)



1 今月のトピックス

マダニによる感染症に注意しましょう

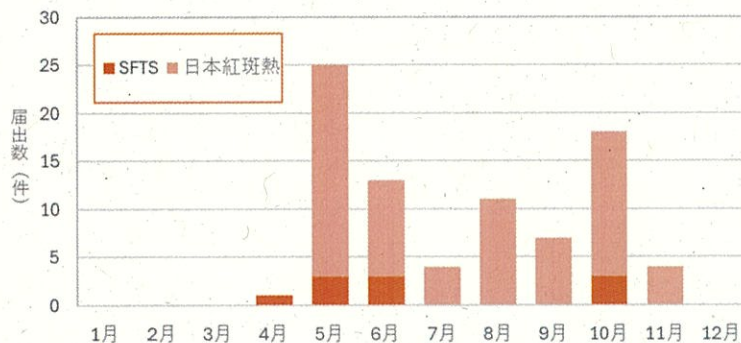
フタトゲチマダニ

マダニは主に森林や草地などの屋外に生息しており、気温の上昇とともに活動が活発になります。そのため、県内では、例年4月頃からマダニが媒介する感染症^{*}の発生の増加が確認されています。

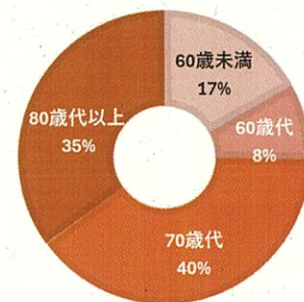
春になり、農作業・庭仕事・レジャーなど野外で活動する機会が増えますが、長袖、長ズボンの着用、忌避剤の使用等によりマダニに咬まれないよう注意しましょう。

^{*}重症熱性血小板減少症候群や日本紅斑熱など、病原体を持ったマダニに咬まれることにより発症する感染症（すべてのマダニが病原体を持つわけではありません）

マダニが媒介する感染症の発生状況（令和6年 広島県）



年齢別発生状況（令和6年 広島県）



疾病名	潜伏期間	症 状		発生件数	
		初期症状	特 徴	R5年	R6年
重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)	6～14 日	倦怠感 悪 寒	消化器症状：食欲不振、嘔気、嘔吐、腹痛、下痢、下血 その他の症状：頭痛、筋肉痛、神経症状（意識障害、けいれんなど）リンパ節腫脹、呼吸器症状、出血症状（紫斑）	8	10
日本紅斑熱	2～8 日	急な発熱 (38～40℃)	発 疹：発熱の後にやや遅れて、四肢や体幹部に米粒や小豆大の紅斑（痛み・かゆみはないが手のひらにも出現） 刺し口：腹部や背部、外陰部、大腿部など隠れた部分に多い	104	73

■ 予防方法

野外活動時の服装に気を付けましょう（長袖、長ズボン、帽子、手袋、首にタオルを巻く等）。

また、活動後は体や服をはたき、マダニが体についていないか確認しましょう。

■ 吸血中のマダニを見つけたとき

無理に引き抜こうとせず、医療機関（皮膚科など）で処置してもらいましょう。

■ マダニに咬まれた後に発熱等の体調変化があった場合

すぐに医療機関（内科・皮膚科など）を受診し、マダニに咬まれたことを医師に伝えてください。



詳しくは、広島県のホームページをご覧ください。

広島県 マダニ

検索

2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

令和7年 2月分(令和7年2月3日～令和7年3月2日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	890	1.90	6.19	↓	11	ヘルパンギーナ	2	0.01	0.03	
2	新型コロナウイルス感染症(covid-19)※1	2,181	4.66		↗	12	流行性耳下腺炎	8	0.03	0.02	
3	RSウイルス感染症	387	1.31	0.21	↑	13	急性出血性結膜炎	3	0.04	0.01	
4	咽頭結膜熱	122	0.41	0.54	↗	14	流行性角結膜炎	103	1.36	0.43	↗
5	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	651	2.20	1.21	↗	15	細菌性髄膜炎	1	0.01	0.00	
6	感染性胃腸炎	3,476	11.74	6.02	↑	16	無菌性髄膜炎	1	0.01	0.00	
7	水痘	18	0.06	0.12	↓	17	マイコプラズマ肺炎	44	0.55	0.05	↓
8	手足口病	16	0.05	0.16	↗	18	クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	
9	伝染性紅斑	20	0.07	0.06	↗	19	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	16	0.20	0.01	↑
10	突発性発疹	38	0.13	0.21	→	※1 第19週(5/8～)から五類に変更。					

(2) 定点把握(月報)五類感染症

令和7年 2月分(2月1日～2月28日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
20	性器クラミジア感染症	55	2.50	2.97	↗	24	メチリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	75	3.75	3.18	↗
21	性器ヘルペスウイルス感染症	19	0.86	0.89	↗	25	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1	0.05	0.04	
22	尖圭コンジローマ	14	0.64	0.58	↗	26	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0.00	0.01	
23	淋菌感染症	17	0.77	1.09	↗	※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり) ※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。					

急増減疾患!! (定点当たり前月比2倍以上増減)

○急増疾患 RSウイルス感染症 (0.46 → 1.31)
感染性胃腸炎 (5.31 → 11.74)
感染性胃腸炎(ロタウイルス) (0.04 → 0.20)
○急減疾患 インフルエンザ (19.03 → 1.90)
水痘 (0.14 → 0.06)

発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象19疾患, 月報対象7疾患)について, 県内178の定点医療機関からの報告を集計し, 作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾患No.	1, 2	1～12	13, 14	20～23	15～19, 24～26	
定点数	43	74	19	22	20	178

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類等感染症発生状況

【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	32	結核(32)〔西部保健所(1)、西部東保健所(1)、東部保健所(10)、北部保健所(1)、広島市保健所(15)、呉市保健所(2)、福山市保健所(2)〕
三類	7	コレラ(3)〔福山市保健所(3)〕 腸管出血性大腸菌感染症(4)〔北部保健所(1)、福山市保健所(3)〕
四類	4	A型肝炎(1)〔呉市保健所(1)〕 デング熱(1)〔広島市保健所(1)〕 レジオネラ症(2)〔広島市保健所(1)、呉市保健所(1)〕
五類	45	アメーバ赤痢(1)〔東部保健所(1)〕 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(5)〔広島市保健所(3)、呉市保健所(1)、福山市保健所(1)〕 急性弛緩性麻痺(1)〔東部保健所(1)〕 劇症型溶血性レンサ球菌感染症(1)〔広島市保健所(1)〕 後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)(2)〔福山市保健所(2)〕 侵襲性インフルエンザ菌感染症(2)〔広島市保健所(1)、福山市保健所(1)〕 侵襲性肺炎球菌感染症(4)〔広島市保健所(3)、福山市保健所(1)〕 水痘(入院例)(1)〔東部保健所(1)〕 梅毒(17)〔広島市保健所(14)、福山市保健所(3)〕 百日咳(11)〔西部保健所(2)、広島市保健所(9)〕